



2020年4月28日

各位

会社名 株式会社清水銀行
 代表者名 取締役頭取 岩山 靖宏
 (コード番号 8364 東証第一部)
 問合せ先 理事総合統括部長 八木 真樹
 (TEL 054-353-5162)

2020年3月期通期業績予想の修正並びに
 2020年3月期第4四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

記

1. 業績予想の修正

2019年11月8日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想(連結・個別)につき、下記のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想の修正

2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,300	百万円 3,500	百万円 2,400	円 銭 207.26
今回修正予想(B)	28,900	△4,200	△3,900	△336.67
増減額(B-A)	1,600	△7,700	△6,300	—
増減率(%)	5.86	—	—	—
(ご参考)2019年3月期	28,675	3,620	2,521	225.83

(2) 個別業績予想の修正

2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,700	百万円 3,300	百万円 2,400	円 銭 207.26
今回修正予想(B)	23,200	△4,400	△3,900	△336.67
増減額(B-A)	1,500	△7,700	△6,300	—
増減率(%)	6.91	—	—	—
(ご参考)2019年3月期	23,048	3,411	2,492	223.23

(3) 修正の理由

①個別業績予想の修正

本年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による金融市場の混乱等に伴い、保有する有価証券(投資信託・株式)の評価損が増加いたしました。翌期以降の業績への影響を考慮し、一部の投資信託の売却を実施したほか、基準に則り株式の減損処理を実施いたしました。この結果、経常利益、当期純利益が前回公表時の予想を下回る見込みとなったため、業績予想を修正するものです。

②連結業績予想の修正

個別業績予想の修正に伴うものであります。

2. 有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、2020年3月期第4四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

2020年3月期第4四半期における有価証券評価損

	単体	連結
(A) 2020年3月期第4四半期会計期間 (2020年1月1日から2020年3月31日まで)の 有価証券評価損の総額 (=イ-ロ)	2,957百万円	2,957百万円
(イ) 2020年3月期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)の 有価証券評価損の総額	3,221百万円	3,221百万円
(ロ) 直前四半期 (2020年3月期第3四半期) 累計期間 (2019年4月1日から2019年12月31日まで)の 有価証券評価損の総額	263百万円	263百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期から第3四半期までは洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。

※当行の決算期末は、3月31日です。

(参考) 個別業績予想についての補足説明

2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)においては、貸出金利息が減少から増加に転じ、役務取引等収益が増加したこと及び経費削減などにより、コア業務純益、コア業務純益(除く投資信託解約損益)、実質業務純益は順調に推移しており、下表のとおりいずれも前期比増加となる見込みであります。

(単位：百万円)

	2020年3月期見込	2019年3月期実績	増減
コア業務純益	2,500	2,265	234
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	2,200	2,075	124
実質業務純益	2,400	2,278	121

3. その他

役員報酬については、5%から20%の減額を予定しております。詳細は内容が決定し次第、公表させていただきます。

以上

※本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。